

**製品名: Gli3 (10W4) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe11464**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	170kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GLI3
別名	ACLS; GCPS; GLI3; GLI3FL; PAPA; PAPA1; PAPB; PHS; PPDIV;
遺伝子 ID	2737.0
SwissProt ID	P10071
免疫原	ヒト Gli3 の組み換えタンパク質

**背景**

ソニックヘッジホッグ (Shh) 経路の転写活性化因子と抑制因子の両方の機能を持ち、四肢の発達に関与する。リン酸化および核移行

後の全長 GLI3 (GLI3FL) は活性化因子 (GLI3A) として機能し、C 末端切断型 GLI3R は抑制因子として機能する。ソニックヘッジホッグ (Shh) 経路の転写活性化因子と抑制因子の両方の機能を持ち、四肢の発達に関与する。リン酸化および核移行後の全長 GLI3 (GLI3FL) は活性化因子 (GLI3A) として機能し、C 末端切断型 GLI3R は抑制因子として機能する。GLI3 活性化因子と抑制因子 GLI3R の適切なバランスは、抑制因子勾配自体や活性化因子/抑制因子比勾配ではなく、四肢の指の数と個性を決定します。TRPS1 と協調して、遠位軟骨細胞領域の大きさの調節、遠位細胞における PTHLH 発現領域の制限、そして軟骨細胞の増殖活性化に役割を果たします。GLI-の最小コンセンサス配列 5'-GGGTGGTC-3'に結合します。

## 研究分野

ヘッジホッグ;がんの経路;基底細胞癌;

## 画像データ

Gli3 抗体 (1:1000 希釈) を使用した 293 細胞溶解物中の Gli3 のウェスタン ブロット検出

